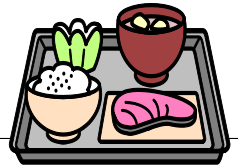
産婦人科　　ダヴィンチ手術を受けられる　　様

	入院前日まで	入院日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1日目	術後2日目	術後3日目	退院日
月日		月　　日						月　日
治療薬剤	・手術日当日の薬は、手術に影響するため医師の指示に従ってください 	・持参した薬は、薬剤師に預けて下さい ・預けた薬は、薬剤師が確認します ・確認した薬は、看護師がお返しします ・薬の内服は医師の指示によります	・医師から指示された薬のみ内服してください 		・内服を再開する場合は指示に従ってください		・退院前の診察をおこないます 	【薬剤師から】 ・薬剤師、もしくは看護師より薬の説明があります
処置検査	・爪は短く切ってください 【入院日までに準備して下さい】 □現在使用中の薬 □お薬手帳 □ボールペン（必要書類サインのため） □入院生活に必要な物 （アメニティの申し込みは入院後になります） □入院案内 □書類 □その他	・指定された時間までに、患者支援センターにお越し下さい ・休日は直接5W病棟へおこしください ＊付き添いの方も一緒に来院して下さい）	・手術着に着替えてください ・下着は履いていただいて構いません ・弾性ストッキングを着用してください ・その後点滴をします 	・心電図・酸素モニター、酸素マスク、フットポンプを装着します	・手術後1日目まで点滴があります ・採血をします 		・採血・検尿をします ・創部の絆創膏をとります 	
活動安静度		・院内の歩行は自由です ・転倒しないよう、履き慣れた靴の持参と寝衣の裾丈の調整をお願いします	・病棟内の歩行可能です 	・術後はベッド上安静となります ・定期的に体温、脈拍、血圧などを測定します	・病棟内の歩行可能です 			・普通の生活で結構です。
		・看護師がナースコールの位置の確認とベッド周囲の調整を行います ・移動や移乗の際に不安があれば、看護師を呼んでください						
食事		・21：00以降絶食です	・6：00以降は絶飲食です 		・術後1日目の朝、医師の回診後水分摂取可となります 【管理栄養士から】 ・術後1日目昼から常食を開始します ・栄養士が訪問し、病状や嗜好に適した食事を提供します ・食事の選択ができます （医師の指示や食種によっては選択ができないものもあります）			・食事の制限はありません （生活習慣病のある場合は医師の指示に従って下さい）
清潔		・シャワーを使用してください 	・朝、お体を拭くタオルをお渡しします		・タオルで体をふきます	・お体を拭くタオルをお渡しします	・術後3日目よりシャワー可能です 	
排泄		・トイレを使用してください ・就寝前に下剤を内服します	・排便なければ朝、浣腸をします	・手術室で尿管をいれて病室へ戻ります	・歩行可能であれば尿管を抜きトイレで排泄します	・トイレを使用してください		
看護	手術及び環境変化への不安が軽減できるよう支援していきます			手術後の苦痛・疼痛を最小限にできるように看護します		日常生活の自立度に応じて日常生活動作自立及び不安の軽減への援助をしていきます		退院後の日常生活の自立にむけて支援して行きます
		・入院による環境の変化や身体への負担が軽減できるよう環境調整を行います						
患者さん・ご家族への説明	ご不明な点は、お電話ください。 ・病院代表 0568-76-4131 入院前日まで →産婦人科外来 入院当日 →5W病棟にお問いあわせ下さい 	【医師から】 ★入院の説明と治療の説明があります。 （外来でお済の方はありません） 【看護師から】 ★説明後「入院診療計画書」「同意書」にサインをお願いします。 （外来で説明がお済の方は、サイン記入後提出してください） ★安全確認のため、患者識別のリストバンドをつけていただきます ★病棟、入院中の生活、治療の流れを説明します	・付き添いの方は、手術終了まで病室またはディルームでお待ちください 【医師から】 ★手術直後の説明が主治医よりあります ★手術後、状態が安定していれば、付き添いの方は帰宅していただけます		【医師から】 ★ご希望や、必要に応じて、経過の説明をいたします 【看護師から】 ・ご希望や、日常生活に応じて説明をいたします ・必要により退院調整看護師がお話を聞きます 		【看護師から】 ★「退院療養計画書」「スケジュール票」を基に退院後の生活、次回外来の説明があります ・退院後の生活についてリーフレットを用いて説明します	・退院は午前10時までになります。　・クラークが請求書を届けます。休日は看護師が会計のご案内をします ★病室内点検の後退院となります

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします。患者パス作成：2025年6月　　小牧市民病院